



大井埠頭に東京港最大のコンテナクレーンを設置

東京港のコンテナふ頭は、首都圏4千万人の生活と産業に欠くことのできない重要な役割を果たしています。その最前線で働くコンテナクレーンは、常に安定した稼働が要求されているため、老朽化したクレーンの計画的な更新が必要であるとともに、大型船の寄港にも応えられるようにクレーンの大型化が求められています。

当社では、大井埠頭の第3バースに設置しているクレーン3基について、東京港最大である21列対応の大型化クレーンへの更新工事を進め、4月23日には3基すべてが稼働することになりました。

新規クレーンの設置で、より信頼性の高い荷役が可能になり、また20フィートコンテナを同時に2個吊ることが可能なツインスプレッダー方式の採用により、荷役効率の向上が期待できます。

当社は、今後ともユーザーの皆様の細かなニーズに応えながら、計画的に施設を整備してまいります。ご期待ください。



写真 新コンテナクレーン（OC36号機、OC37号機、OC38号機）